

《履修上の留意事項》対面形式で実施する場合には、十分な感染症対策を行うために1教室あたりの受講者数を制限をする場合がある。

状況により、講義の全部または一部を遠隔形式で実施する場合もあるが、その際には別途連絡する。

講義においては、PC、スマホ、タブレットなどを用いた小テストを毎回実施し、成績評価に反映する（詳細については初回講義で説明する）。

《担当者名》上河邊 力（心）kamikobe-i-ryo@hoku-i-ryo-u.ac.jp

### 【概要】

心理学では、こころと行動の関連を明らかにすることを目的とする。本講義では、保健・医療・福祉分野で必要とされる心理学と心理的支援に関する基礎的な知見を脳科学の基本的知識と関連づけながら概説する。

### 【学修目標】

- ・心理学の基本的な用語や定義を正しく説明することができる。
- ・介護実践を含む保健・医療・福祉分野で必要とされる観察力、判断力の基盤となる人間の心理について理解し説明することができる。
- ・環境との相互作用の中で生じる心理的反応を理解する。
- ・自己、他者、集団の行動や心理を、心理学の知見に基づいて説明することができる。
- ・人間のこころの成長と発達に関する心理学的知見をもとに、ライフサイクル（乳幼児期、児童期、思春期、青年期、成人期、老年期）の各期を説明することができる。
- ・人生の最終段階や大きな障がいを負った場合のこころのあり方について、アセスメントを含む心理的支援を意識した心理学的観点から説明することができる。

### 【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	イントロダクション	以下の項目について概説することができる。 心理学が対象とする内容 / 研究手法	上河邊
2	パーソナリティ	以下の項目について概説することができる。 パーソナリティ理論 / 心理的アセスメント : パーソナリティの測定	上河邊
3	知能	以下の項目について概説することができる。 知能の定義・理論 / 創造性 / 心理的アセスメント : 知能の測定	上河邊
4	知覚	以下の項目について概説することができる。 視覚 / 錯視	上河邊
5	知覚	以下の項目について概説することができる。 聴覚 / 味覚 / 嗅覚 / 体性感覚 / 痛み	上河邊
6	学習	以下の項目について概説することができる。 古典的条件づけ / 道具的条件づけ	上河邊
7	学習	以下の項目について概説することができる。 認知学習	上河邊
8	記憶	以下の項目について概説することができる。 記憶の分類 / 記憶の障害 / さまざまな認知症	上河邊
9	動機と覚醒水準	以下の項目について概説することができる。 動機づけ / 葛藤	上河邊
10	感情	以下の項目について概説することができる。 情動 / 感情 / 情動・感情の障害	上河邊
11	ストレス	以下の項目について概説することができる。 ストレスの心理生物学的メカニズム / ストレスマネジメント / ストレスと心身の健康の関連	上河邊
12	発達	以下の項目について概説することができる。 発達段階 / ピアジェの発達理論 / 幼児期 / 児童期 / 愛	上河邊

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		着	
13	発達	以下の項目について概説することができる。 思春期 / 青年期 / 成人期 / 老年期	上河邊
14	社会行動	以下の項目について概説することができる。 自己と他者 / 集団における人間関係	上河邊
15	心理学的介入	以下の項目について概説することができる。 カウンセリング / 精神分析 / 行動療法	上河邊

#### 【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

#### 【評価方法】

小テストおよび課題レポート20%、定期試験80%

#### 【教科書】

教科書は使用せず適宜スライド資料を配布する

#### 【参考書】

心理学への招待 [改訂版]・梅本 堯夫など・（サイエンス社）  
誠信 心理学辞典 [新版]・下山 晴彦など・（誠信書房）

#### 【備考】

この科目は、社会福祉士・精神保健福祉士国家試験受験資格取得のための「心理学理論と心理的支援」および介護福祉士国家試験受験資格取得のための「こころとからだのしくみ」に該当する。

#### 【本科目のICTの活用の状況】

1. 学習教材（授業資料）の配信、学習課題の提示
  - ・授業資料の配布は、google class roomを利用する。
  - ・学習課題の提示は、google class roomを利用する。
2. 授業時間中にその場で学生の理解度を把握する技術の活用
  - ・毎回、google formを利用して、小テストを実施し、解答は直ちにフィードバックする。
  - ・クリッカーやgoogle formを利用して、適宜学生の理解度を把握する。
3. 資料はすべて電子化したものとし、紙資料の配布予定はない。

#### 【学修の準備】

予習：各回の「授業内容および学習課題」に挙げられているキーワードについて、配付資料、参考書、インターネットなどを利用して事前に予習を行う。事前学習には60～90分かかると想定している。

復習：学習内容を自分の言葉でまとめる。配付資料、参考書の当該部分を精読し、講義中に触れられなかった内容の補完や講義内容との統合を行うこと（30～60分）。

#### 【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2

#### 【実務経験】

医療機関（精神科・児童精神科）主任心理師  
札幌市スクールカウンセラー  
臨床心理士、公認心理師

#### 【実務経験を活かした教育内容】

精神科および教育機関における実務経験を活かし、可能な限り具体的に基礎から応用に及ぶ教育内容と臨床場面との関連について言及する。